



学校だより アンケート特集号

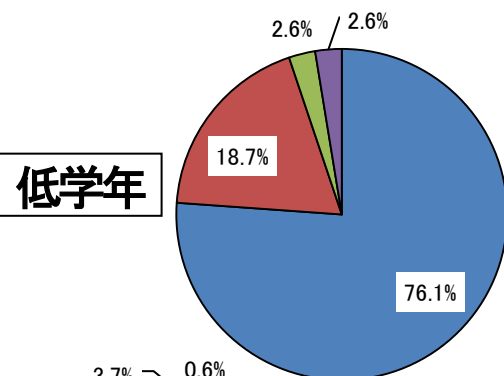
令和2年12月
京都市立桂東小学校
校長 志村 光 司

前期の児童アンケート結果です。結果の集計とそこからわかる傾向と今後の課題について、考察してみましたのでお知らせいたします。

低学年・中学年・高学年と学年が進むにつれて各項目の割合はどう変わっていくかを調べました。

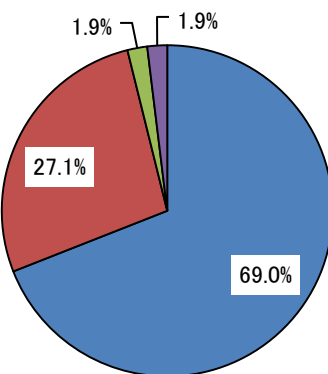
子どもたちのアンケート結果から（１）

『学校はたのしいです。』



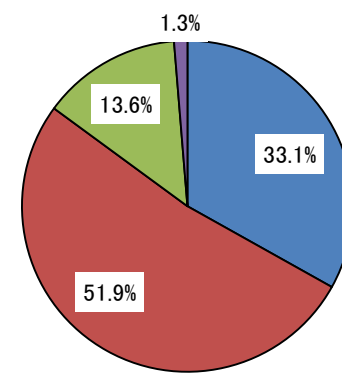
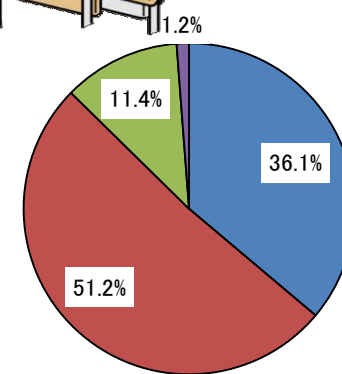
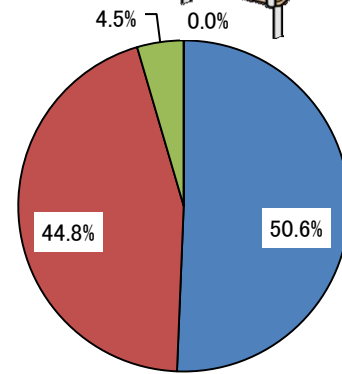
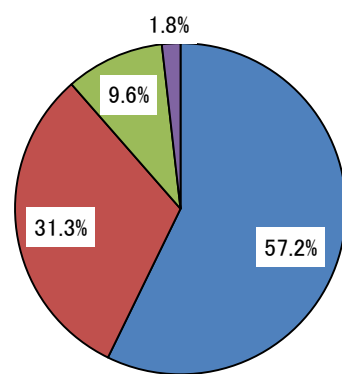
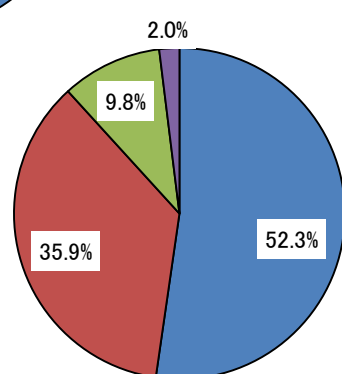
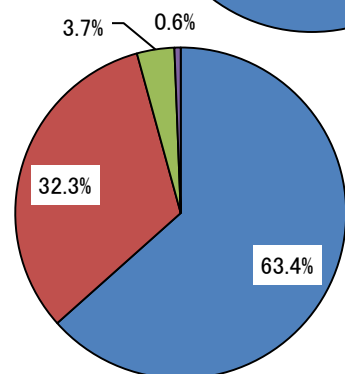
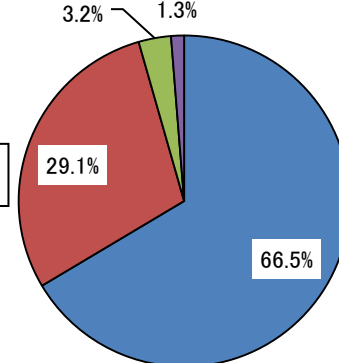
低学年

『学習はよくわかります。』



低学年

『「あいさつ・ベル着・トイレのスリッパ」がしっかりできています。』



今年度の1学期は、新型コロナウイルス感染症により通学した回数は例年よりも少ないですが、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせると、低学年・中学年は95.5%、高学年は88.2%と高い数字となっており、嬉しく思います。「楽しくない」については、低・中・高学年で0.6%～2.0%となっていました。

学年が上がるにつれて学習面や友達関係のみならず、様々な要因で悩む子どもたちが増えてきます。個人差のある問題でもあるので、個々にじっくり話を聞いて、保護者の方々と連携をとりながら取り組むことで「楽しい学校・学年・学校」にしていきたいと思います。

行事をはじめ、色々な取組に子どもたちが主体的に取り組めば、充実感・成就感が感じられ「楽しい」と感じると思っています。2学期も仲間とつながる活動を工夫したり「授業が楽しい」と思えるように教材研究を重ねたりして授業で子どもたちを育てていきます。

学習については、低学年が96.1%、中学年では88.5%、高学年では95.4%から「分かりやすい」と回答を得ました。これは各教科等における授業改善を行っている成果だと考えます。ただし児童の感じ方と教職員の思いの違いもありますので、今後も授業研究を通してすべての子どもに届く授業や分かる喜びと学ぶ楽しさが実感できる授業を目指していきます。また、今後も家庭学習の取り組み方や自主学習の内容を子どもたちに示し、自学自習の習慣化を図りたいと思います。

子どもたち全員が、授業中「進んで自分の思いや考えを発表している」姿を目指しています。自分の考えを周りの人に伝えることで考えが広がったり、深まったり子どもの力で子どもを育てることも意識して取り組んでまいります。そのためには、何でも自分の思いを言い合うことができる学級や人間関係作りに気をつけ、話す意欲につながっていきます。

この項目には、「あいさつ」「時間を守る」「履物をそろえる」という3つの要素が入っています。低学年では95.6%、中学年では87.3%、高学年では85%が「できている」と回答しています。

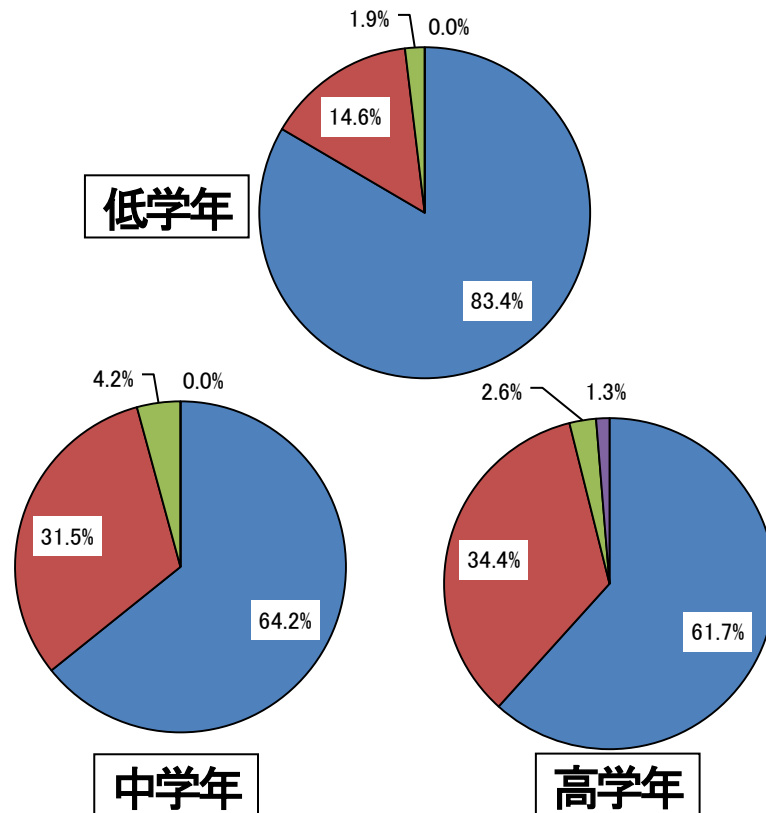
普段の子どもたちの様子を見ていると、学校の中であいさつができていても、学校の外に出ると地域の方々にあいさつができていないこともあります。また、自分からあいさつができる子もいますが、気恥ずかしいのか声を出さずお辞儀だけの子もいます。

誰にでもあいさつするというのは難しい場面がありますが、お世話になっている地域の方には、あいさつできるようにしていきたいものです。まずは大人が子どもに手本（行動・言動）を見せることで今後も「人・もの・時間を大切にする」この3つの観点で学校とご家庭で共に子どもたちを育てていきたいと思います。



子どもたちのアンケート結果から（２）

『学校のきまりや社会のルールをしっかり守っています。』

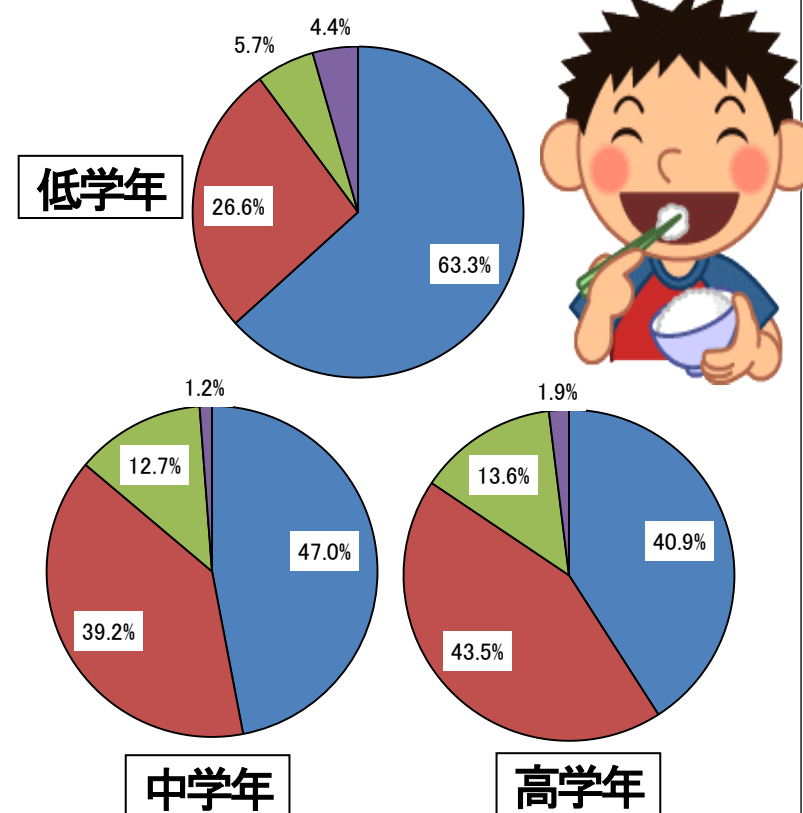


「よくできている」と「大体できている」を合わせた肯定的な回答は、低学年・中学年・高学年ともにほとんど差異はなく95～98%と高い水準でした。児童がルールを「守られているもの」ではなく、安心・安全に生活するために「必要なもの」と認識していたりするからだと考えます。

学校では、友だちと一緒に遊んだり、協力して清掃活動に取り組んでいます。また、取組を通して友だちとやり遂げる充実感・成就感を味わうような具体的な活動を通して、自分が変わっていくことを実感させています。子どもの中の価値を強化することで規範意識は育まれると考えています。

また、ルールがあるから安全で安心して色々な活動ができます。ご家庭でも家庭の事情に合った家庭教育で子どもたちの規範意識を高めていただければと思います。学校では、今後も高学年が見本となることで、学校全体の意識を高めていきます。

『早寝、早起き、朝ごはんがしっかり出来ています。』

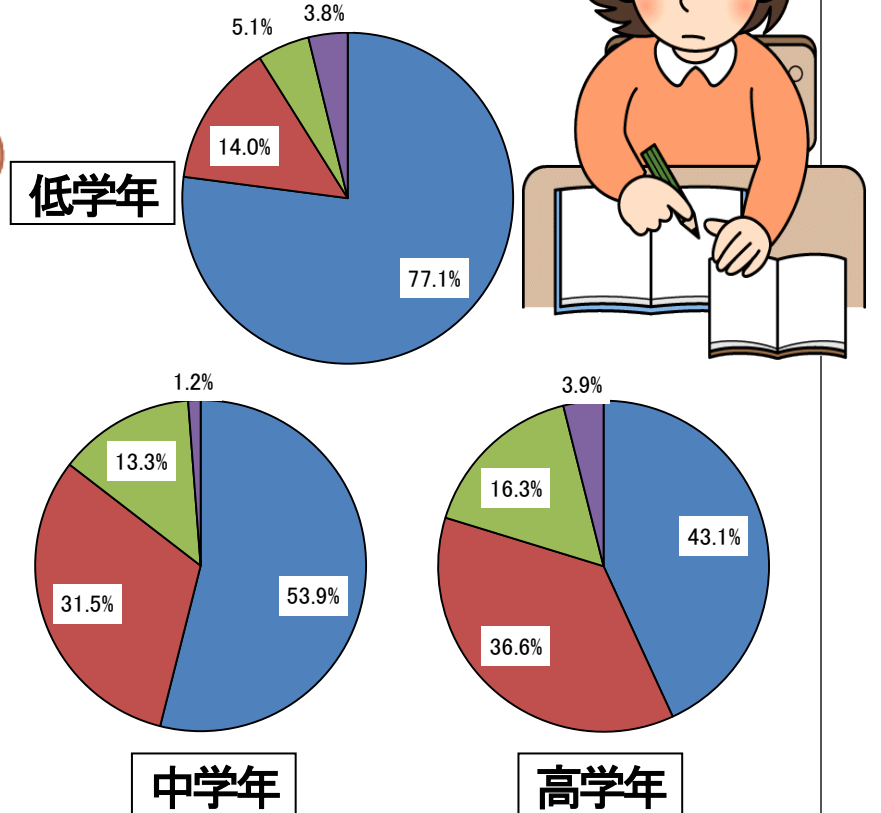


「よくできている」と「大体できている」を合わせた肯定的な回答は、低学年が89.9%、中学年が86.2%、高学年が84.4%でした。年齢が上がるにつれて減少傾向が見られます。

朝起きるのが遅く、集団登校に間に合わない児童を見かけることがあります。夜遅くまで起きていて、次の日にしんどいと保健室にくる児童もいたり、学校で気分が悪くなり保健室で休んだりしている児童もいます。子どもの成長と健康には、十分な睡眠時間は欠かせないものです。

今後も健康についての学習を進めていきますが、ご家庭でも子どもたちの生活を見ていただき、健康的な生活リズムがとれるようにご協力をお願い致します。

『自分から進んで読書に取り組んでいます。』



「よくできている」だけを見ると低学年と中・高学年で差が見られます。低学年では、「よくできている」という肯定的な回答は、高いです。

学校での子どもたちの様子を見ていると、「本を読んでいる」印象があります。しかしもちろん個人差があります。

ただ気になるのは、「読書の質」です。発達段階に応じた選書になっていない時もあります。正しい選書ができるように指導していきたいと思います。

読書は良いことだと分かっているでも「本をたくさん読みましょう...」と言うだけで終わっている時があるかもしれません。読み聞かせも大切な活動です。絵本を読み聞かせることで、子どもたちは新たな本や、話の続きを楽しみをするようになります。「続きは？」と子どもたちがわくわく感をもって期待できるような読書のあり方を考えていきたいと思います。